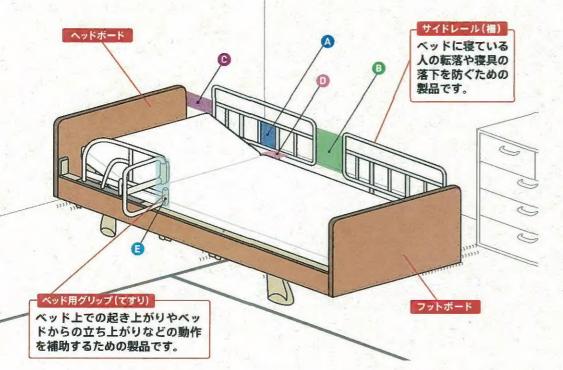
介護ベッドまわりの事故の現状

ここが危ない!

近年、介護ベッド関連の死亡・重傷事故 が増えています。事故の多くは危険な部 分があるかどうかの確認と正しい使い 方によって未然に防ぐことができます。

サイドレール関連

- Aサイドレール内のすき間
- B サイドレールと サイドレールのすき間
- **ロサイドレールとボードのすき間**
- D サイドレールとマットのすき間
- ビベッド用グリップの固定レバー など



■2007年5月14日~2010年8月31日集計

消費生活用製品安全法に基づく重大事故として報告されたもの

- ※重大事故:死亡、負傷または疾病であってこれらの治療に要する期間が30日以上等
- ■経済産業省による調査の結果、36件中22件が「製品に起因しない事故」と判断されています。

こんな事故が起きています

サイドレール・ベッド用グリップのすき間の事故



サイドレールの中に頭、 腕や足が入り重傷・死亡した。

- ■腕が入った ■足が入った
- ■挟んだ状態で「起き上がろうとした」 「体をねじった」





サイドレールと サイドレールのすき間に 首がはさまり重傷・死亡した。

■ベッドとサイドレールのメーカーが違う

■サイドレールとベッド (マットレス)のすき間





サイドレールと ボードのすき間に

逆に取り付けていた。





サイドレールとマットや ベッドフレームの間に はさまり重傷をおった。

欄90cm幅対応のベッドに83cm幅の マットを使用していた

■ベッドとサイドレールのメーカーが違う



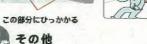
ベッド用グリップの固定ノブ・レバー関連事故



着衣がベッド用グリップの 固定レバーにひっかかり **窒息により死亡**









首振りの固定レバーが 外れ、転倒・骨折した。 ■固定されておらず首置り部が急に動き、







その他介護ベッドの事故

ベッド本体と他の物との すき間にはさまれた事故、 ベッドのフレーム内にはさまれた事故





事故多発時間帯

夜10時~朝8時



事故の多くは夜から朝に起きています。







身体や意識がはっきりしていない時間帯にトイレに行こうとして、ベッドからの転落や移動中の転倒事故が多発していま す。特に睡眠薬を服用している場合は身体状況が不安定になり転倒しやすくなります。(医師の指導を守って下さい)

あなたの注意で事故は未然に防げます。チェックリストで確認を!!

すき間

く チェック ①!

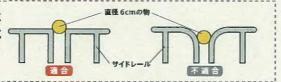
認知機能障害など予測できない行動をとる方や片マヒなどの障がいがある方 は、特にサイドレールのすき間などに注意して下さい。

すき間に首が入り込む事故が多発しています。





介護ベッドのJIS規格では、図のように サイドレールとサイドレールのすき間に 直径6cmの硬い円柱状の器具が 入らないこととされています。



確認してみよう 安全確認スケールを当てて、直径 6cmの物が入りそうなすき間がないか確認しましょう。

すき間があるときの解決策

- ■ヘッドボードとサイドレールのすき間を クッションなどを入れてうめましょう。
- ■スペーサーなどによりサイドレールと サイドレールの間にはさまらないようにしましょう。
- ※メーカーにより対応が異なります。
- ■危険なすき間がないサイドレールに交換しましょう。



12cm 以上のすき間があると・・・・

サイドレールの中に頭が入り、窒息事故が発生しています。



確認してみよう

安全確認スケールを当てて、直径 12cmの

硬い物が入るすき間がないか計測しましょう。



すき間があるときの軽決策





ベッド用グリップカバー

をご利用ください。

※メーカーにより対応が異なります。 詳しくはメーカーにご確認下さい

チェック(2)!

ベッド用グリップの固定を 確認していますか?

しっかり固定していないと・・・・

立ち上がるときに転倒し骨折する原因になります。



実際にやってみよう!

首振り機構の固定、ベッドへの固定は

確実ですか?

その他

チェック(3)!

●取扱説明書をよく読んで 正しく使いましょう。



安全確認スケール すき間確認にご利用ください。